

市指定

所在地：黒岡

おおもりひこしちえま

大森彦七絵馬

「大森彦七南朝の雄魂に悩まされる図」と題する絵馬である。彦七は足利尊氏の家来で、湊川合戦において楠木正成に誑腹を切らせた応報として、南朝諸雄の靈魂に悩まされたという。その故事（太平記）をもとにして描かれたものである。

当絵馬は、貞享4年（1687）篠山藩主松平（形原）家の家臣堀和佐内景広が奉納したもので、黒岡春日神社の絵馬堂に掲げられている。

縦173cm、横160cm。

